編集後記

学術論文にはある一定の書き方の様式があり、これに従って記載することが望まれます。臨床神経学雑誌では、要約、前文、対象・方法、結果・成績、考案から構成され、この様式は50年以上の前からはじまったものと思われ、少なくとも私が神経学会に入会して以来この様式には変化がありません。

論文は首尾一貫して、目的、対象・方法から結果、この 結果に対する考案が順序よく流れ、整頓かつ簡潔に記載さ れ、また自らの結果を批判的に考察しなければなりません。 しかし、実際に私自身が論文を作成する際にも中々このよ うに論文は書けません。言うは易く、行うは難いといった ところです、論文を査読していて、相当に価値がある論文 と理解するものの、考案において支離滅裂な構成のため大幅な修正をお願いする論文を数多く認めます。考案の構成には十分に気を配って頂きたい。結果から考案、そして結論を導くにあたり、少なくとも発表論文として海外の論文にも十分に目を通し、論文の成果を自ら批判的にとらえる観察力をもって論文の考案を作成して頂きたい。また症例報告では画像が重要な役割を果たすことは言うまでもありませんが、その画像を載せる意義が不明であったり、その説明文が間違っていることがあり、このような論文の評価は明らかに低下します。必要最低限の画像の選択と適切な所見の記載が行われることを切望します。

(野村 恭一)

〈編 集 委 員〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 瀧山 嘉久 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦編集委員(幹事兼任) 園生 雅弘 高尾 昌樹 森 秀生

「**臨 床 神 経 学**」 第54巻 第6号 平成26年6月1日発行

編 集 者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル

一般社団法人日本神経学会

発 行 者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル

水 澤 英 洋

印刷所〔郵便番号602-8048〕京都市上京区下立壳通小川東入

中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル

日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550 TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス: http://www.neurology-jp.org/